

令和7年度 吉備中央町社会福祉協議会 事業計画

【基本方針】

少子高齢化や人口減少により生活をとりまく環境が大きく変化するなか、地域における支え合い基盤が弱まり、地域社会から孤立する方が増え、地域が抱える生活課題も複雑化、複合化しています。このような状況の中、国では、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、地域を共に創っていく地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。そして、この地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、重層的支援体制整備事業が位置付けられています。

本会でも、昨年度より重層的支援体制整備事業移行準備事業の「多機関協働事業」を受託し、既存の相談機関へのヒアリングを行い、課題を浮き彫りにしてきました。ここから見えてきたのは、「当事者のニーズに合った社会資源が無い。」「複合的な課題を抱えており、一つの相談機関では支援の方向が見えない。」など、まさに、制度の狭間にある方や支援のしづらさを抱えている支援者の姿が見え、重層的支援体制整備事業に取り組む意義を感じています。これにより、今年度は「アウトリーチ事業」及び「参加支援事業」を新たに受託し、令和8年度の本格始動に向け、地域福祉事業の体制を整えていきます。その体制として、生活支援コーディネーターの活動とも連動させながらコミュニティソーシャルワークを行い、「まるごと会議」を相談の入口・出口の両方で機能させていきます。そして、地区担当及びそれぞれが見つけてきた地区のキーパーソンと連携し、個の課題を地域づくりにつなげていきます。

また、介護保険事業については、町内に1事業所のみとなった訪問介護事業を守りながら、赤字を抱える通所介護事業所及び居宅介護支援事業所の運営については、利用者のみなさまの要望に寄り添いながら、必要とされる介護サービスを検討し、住民主体の地域包括ケアシステムを支える社協らしい介護サービス事業の推進を図ります。

【重点目標】

1. 総合的な相談・生活支援体制の整備
2. 小地域福祉ネットワークづくりの推進
3. 社協職員の意識改革と資質の向上
4. 地域福祉活動計画評価委員会の設置
5. 組織、運営体制の強化

令和7年度 事業計画

事業所名	法人運営（しらさぎ）
------	------------

【基本方針】

総務は、事務仕事が主の仕事になるため、毎年の事にはなるが、支払等を始めミスの無い丁寧な事務を行っていきたい。また、まるごと会議に参加出来る時間を作れるよう効率的な時間の使い方を考えながら業務を行う。（スケジュール管理をしっかりする）
令和7年度は事務の整理を行い効率的に仕事出来るようにシステム等の見直しを行う。

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
データの一元化	点在する職員データをひとつにまとめ、職員情報及び雇用管理情報を一元管理(令和7年度中に完成を目指す)	
活動計画 (重点目標)	⑤-1	
各種会議・研修	各種会議(理事会、評議員会、評議員選任解任委員会、第三者委員会、総務委員会、基金運営委員会、虐待防止委員会、定例監査)、研修(虐待防止研修、健康講習)のあり方等を検証し、充実した会議の開催をめざす	
活動計画 (重点目標)	⑤-1	
まるごと会議	地域へ出向き会議を進めるとともに、担当職員との情報共有等をしっかり行い情報整理ノートをまとめる	
活動計画 (重点目標)	①-1、②-1、②-2、③-1、③-3、④-2、⑤-2、⑤-3	
雇用給与新システム 検討	労働条件通知、辞令交付等の事務をシステムと連動させて事務の効率化が図れるようシステムの検討を令和6年度から行っており、今後も継続して検討し効率的なシステム運用をめざす	
活動計画 (重点目標)	-	
重層的支援体制整備 準備事業	令和6年度より町から受託を受けている準備移行事業について令和8年度の実施に向けて整備していく	
活動計画 (重点目標)	①-1、①-3、①-4、③-1、③-2、④-2、⑤-2	

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
役職員研修	役員、評議員改選後、速やかに役職員研修を行い、時代に沿った社協の在り方、組織体制の強化を学ぶ研修を外部講師(元宝塚市常務理事・佐藤寿一氏)を招いて行う	
活動計画 (重点目標)	⑤-1	
予算管理システムの見直し	現在使用しているアクセスの廃止の検討を行い、アクセスが変わる予算管理システムを検討し、令和9年度から実施できるようにする。	
活動計画 (重点目標)	⑤-1	
中期経営計画	役職員の意識改革(社協事業理解)を含め、現在の社協状況(財政・事業)を分析し今後の社協の方向性や姿を行政や関係団体に示すことを目的とし作成(令和8年度実施)	50万 (時間外40万、印刷製本10万円)
活動計画 (重点目標)	③-3、⑤-1、⑤-2	
SNS進出	新たにフェイスブック進出、エックス(ツイッター)等を始め、HPとの連携をすることで情報発信や社協への相談体制への年齢層の幅を拡大する	
活動計画 (重点目標)	③-2、③-3、	

令和7年度 事業計画

事業所名	法人運営（やすらぎ）
------	------------

【基本方針】

地域の窓口として、訪れやすい雰囲気にし、誰がどんなことで来られても応対できるように努める。少数人員なので互いに協力しながら、運営する。社協職員としての自覚をもち、地域の方と連携していく。

【継続事業】

事業名		予算額
やすらぎ法人	加茂川エリアの総合窓口	
活動計画 (重点目標)	いつでも誰にでも、気持ちの良い対応を心掛ける。	
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)	-	

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額
活動計画 (重点目標)		

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)	-	
活動計画 (重点目標)		

令和7年度 事業計画

地域福祉係

事業所名

【基本方針】

地域共生社会の構築に向けて、重層的支援体制整備事業への取り組みを軸にした地域福祉の推進を目指す。地域支援と個別支援を一体的に進めて行くコミュニケーションソーシャルワーカー（CSW）の動きを社協職員全体で担っていけるよう、人材育成と地域づくりを進めて行く。

【継続事業】

地域支援		個別支援	
目標	地域住民が地域に興味関心を持ち、多様性を認め合うことを大切に、「支援する人を支援する」スタンスで、地域福祉活動を支えて行く。	目標	ダブルケアや8050など、制度の狭間や複合的な課題を抱えられたケースが増えている。社協が持ち得るツールを活用しながら、適切な相談機関や地域の資源につなぎ、社会的孤立を防いで行く。

【継続事業】

1. 地域福祉事業		相談支援・権利擁護	
-----------	--	-----------	--

事業名	事業内容	事業名	事業内容	予算額
福祉共育	小学校の合併に伴い、これまでより大人数のクラスに対応できるプログラムを学校の先生や協力者とともに検討して行く。	法人後見事業	被後見人等に対し、財産管理及び身上保護を行い、本人の望む生活・人生を支えて行く。	424,000

地区社協活動支援	身近な地域で支え合う誰もが安心して暮らせる住民主体の地域づくりの活動を支援する。	日常生活自立支援事業	福祉サービスの利用や、日々のお金のやり取りについて、不安や悩みを解決するための支援を行う。	1,827,000
----------	--	------------	---	-----------

生活支援コーディネーター	各種団体等と連携しながら、新たな社会資源の把握と可視化を行う。閉じこもり予防等、高齢者に加え、生活困窮者や障がい者など全ての方の社会参加を目指す。	特定相談支援事業	障害のある人が、その人にあったサービスを利用できるよう、サービス等利用計画を作成する。	222,000
--------------	---	----------	---	---------

各種団体活動支援	思いやり、支え合う「共に育つ」福祉教育と地域共生社会の現実に向けた地域福祉の推進行う。	生活福祉資金貸付事業	相談内容に応じ適切な貸付金種を紹介するとともに、生活全般の底上げと相談者の社会参加の促進につなげる相談援助を行う。	228,000
----------	---	------------	---	---------

活動計画 (重点目標)		相談支援体制強化推進事業	特例貸付借受世帯に対し、状況把握をとおして支援が必要な世帯の洗い出しと生活課題の分析を行い、必要な支援調整を行う。	5,400,000
----------------	--	--------------	---	-----------

		制度の狭間に対する相談	対象者の生活課題を適切に把握するとともに、多機関協働のもと対象者の社会的孤立の抑制及び社会参加の促進を図る。	0
--	--	-------------	--	---

2. ボランティアセンター事業		多機関協働事業 (移行準備事業)	重層的支援体制整備事業の本事業開始に向けて、令和7年度も移行準備事業を行う。令和8年度から社協が多機関協働事業の受託に向けての準備と、重層的支援体制の構築に向けて町と協議を重ねていく。	7,070,000円
-----------------	--	---------------------	--	------------

事業名	事業内容	予算額	活動計画 (重点目標)	
-----	------	-----	----------------	--

災害ボランティア体制整備事業	町内で災害が起こった際は、被災された方々とボランティアをマッチングし、復興を目指すこととなるため、災害VC設置訓練や研修、運営に必要な資器材の整備を行う。	106,000		
----------------	---	---------	--	--

活動計画 (重点目標)				
----------------	--	--	--	--

3. 共同募金事業

事業名	事業内容	予算額
共同募金運動	町内の施設などコロナボしたグッズを作成を行う。また、学校やクラブなどにダイレクトに伝え、イベント時に街頭募金の依頼を行う。	575,000
普及・啓発	社協だよりに掲載、チラシを全戸配布をし共同募金について正しい情報を知ってもらう。	152,000
団体助成	町内の地域福祉活動推進のために、体操の場やその他団体、身体障害者福祉協会、老人クラブ連合会、民生児童委員協議会、アクトに助成を行う。また、赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業を通しても団体に助成を行う。	1,170,000
活動計画 (重点目標)	年末時期に町内の誰もが孤立することなく、地域住民の一人として安心して暮らせるような「つながりづくり」をつながりサポート事業・児童養護施設支援事業・生活応援事業・生活困窮者見舞金事業などを通して行う。	1,150,000

【廃止事業】

事業名	事業内容 (廃止理由)	予算額
サポーター派遣サービス事業	本来、生活支援ボランティアを養成しないといけないところ、社協職員が対応していたため。	
お弁当事業	お弁当事業の存続について行政関係課と検討した結果、現在、栄養面や関係構築に向けたツールとしては一定の役割を終えたため。	
活動計画 (重点目標)		

【廃止事業】

事業名	事業内容 (廃止理由)	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
地域食堂	温かい食事を通して年齢性別などを問わず、全世代がつながる新しい支え合いの場であり。食材提供なども含めた参加型事業。	
まると会議	令和5・6年度、市町村社協協活動活性化支援事業を活用し、地域福祉部門以外の職員を含めた地区担当制の導入に向け準備してきたが、令和7年度からは、各地区に分かれ、地区ごとの特性に合わせたまると会議の開催を進めて行く。	
活動計画 (重点目標)		

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
アウトリーチ事業/参加支援事業 (移行準備事業)	行政と協議を重ねながら、吉備中央町における重層的支援体制の構築を目指す。それに必要な、アウトリーチ事業と参加支援事業を受託し、まると会議やSCCの業務と連動させる。	
活動計画 (重点目標)		

令和7年度 事業計画

事業所名	やすらぎ居住
------	--------

【基本方針】

高齢者などのため居宅での生活に不安のある人が安心して健康で明るい生活を送れるように支援する

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
高齢者生活福祉センター 居住部門運営事業	おおむね65歳以上のひとり暮らし又は夫婦の世帯で、高齢のため安心・安全に生活することに不安のある方等に住居を提供し、生活支援をおこなう	
活動計画 (重点目標)	居住者の自立を支援し、安心・安全に過ごせるようにサポートする	
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		

令和7年度 事業計画

事業所名	賀陽福祉センター指定管理事業
------	----------------

【基本方針】

令和5年度～令和7年度の3年間で指定管理の協定を結んでいる。施設の老朽化が進んでおり修繕にかかる費用が年々増加してきている。令和5年度実施の特殊建物調査では建物耐久診断を進められている状況もあるため、今後の修繕について令和8年度からの協定更新の有無も見据えた上で町とも協議しながら修繕を行う。

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
	修理必要等箇所：建物耐震検査、サーバー部屋雨漏り、ゲートボール場あずまや屋根修理、ゴルフ場ラフ芝刈り機老朽化、ゴルフ場トップカー老朽化、ゴルフ場手すり、しらさぎ調理室排水防水工事、しらさぎ事業所トイレクロス	
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		

令和7年度 事業計画

事業所名	総合福祉センター指定管理事業
------	----------------

【基本方針】

<p>令和5年度から令和7年度の3年間の指定管理協定。老朽化が進み、修繕も年々増えてきている。</p> <p>デイサービスの運営もあるので利用者が安心して安全に使用できるように、また町民も不安なく使用できるように管理運営する。</p>

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
総合福祉センター 指定管理事業	住民に社会福祉、また住民の生活の維持向上のための場として提供するため、施設を管理運営をしている	
活動計画 (重点目標)	地域住民が気軽に健全な利用ができるように努める	
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画 (重点目標)		
活動計画 (重点目標)		

令和7年度 事業計画

事業所名	居宅介護支援事業所
------	-----------

【基本方針】

1.サービスの質の向上・スキルアップ
2.専門職としての知識を役立てる

【継続事業】

基本方針	内 容	予算額
尊厳の保持	利用者の意思を尊重し、心身の状況や生活環境に応じたケアプランの作成に努める。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者が安心して在宅生活がおくれるケアマネジメントを行います。	
質の高いケアマネジメント	介護や支援を必要とする方が、可能な限り自宅で自立した生活を送ることが出来るよう、知識や情報を結集し、質の高いケアマネジメントを行う。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者が安心して在宅生活がおくれるケアマネジメントを行います。	
関係機関との連携	適切な担当者会議を実施と共に、事業所連絡会やネットワーク会議などに出席し、ケアプランに基づいた適切なサービスが提供されるように事業者や関係機関との連絡調整を行う。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者が安心して在宅生活がおくれるケアマネジメントを行います。	
地域貢献事業	公的なサービスだけでなく、地域のサロンやボランティアなど多様な社会資源と協働し、地域とのつながりを持ち、利用者がいきいきと生活できるように支援する。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援します。	

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額

令和7年度 事業計画

事業所名	訪問介護事業所
------	---------

【基本方針】

認知症や介護や見守りが必要な方、障がいを持つ方、自立支援の必要な総合事業の方が、その方らしく住み慣れた地域で在宅生活を安心して過ごす事が出来るよう支援していきます。また短期間、緊急時や臨時利用にも柔軟迅速に対応していくと共に、その方のニーズに合ったサービスの提供ができるよう、関係機関との連携を密に図っていきます。

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
訪問介護事業①	ヘルパーからの状況報告やサービス提供責任者によるアセスメントで、利用者の状況を常に把握し、報告・連絡・相談を関係機関と確実にやり、ニーズの適正化や見直しに繋げていく。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者の持てる力を活かした訪問介護を在宅生活の最後の砦として行います。	
看取りケア事業	自宅で最期を希望される方への支援のため、医療従事者や介護支援専門員と連携し、不安や苦痛のない緩和ケアを提供できるようにしていく。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者の持てる力を活かした訪問介護を在宅生活の最後の砦として行います。	
業務体制の改善	訪問介護計画書、アセスメント、モニタリング、経過記録等のデスクワークの時間を確保するため、内勤ヘルパーに代行活動を担ってもらい、サービス提供責任者が本来の業務に従事できる体制とする。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者の持てる力を活かした訪問介護を在宅生活の最後の砦として行います。	
職員の資質向上に向けた取り組み	職員が抱えた課題は、事業所全体で共有し解決に向けた取り組みを行っていく。また、介護研修や調理実習など時代に合った実技を身に付けていく。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者の在宅生活を護れるように、職員の資質向上に努めます。	

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額
活動計画		

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画		

事業所名	やすらぎ通所介護事業所
------	-------------

【基本方針】

介護保険法令に従い、利用者がその有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るように支援すると共に、家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
地域交流事業①	町内のこども園や小学校の子どもたちと、一緒にゲームなどを行い、高齢者とのふれあいの場をつくる。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 地域とのつながりをより意識したサービスの運営にとりくみます。	
地域交流事業②	定期的にももカフェなどのサロンと交流し、地域とのつながりづくりを行う。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 地域とのつながりをより意識したサービスの運営にとりくみます。	
家族参観日事業	利用者の家族に、サービスでの様子を見てもらい意見を聴くと共に、家庭での介護について相談に応じる。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者の家族が、安心して在宅介護が行えるように支援します。	
活動計画		
活動計画 (重点目標)		

【廃止事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画を		

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
ボランティア受け入れ事業	ボランティアを受け入れ、利用者になかな趣味活動の提供や、話題提供の場をつくっていく。	
活動計画	①-2 在宅福祉の推進 利用者個々の持てる力を活かし、生きがいや楽しみをもってもらえるサービスを運営します。	

事業所名	ふれあい荘
------	-------

【基本方針】

町の基本理念「みんなの笑い声があふれる懐かしくて新しいふるさとの創造」に向けて「誰もが役割のある居場所づくりの支援」に努め、居宅介護支援事業所および地域包括支援センターと連携し、地域の方々の交流事業や趣味活動を通して介護予防の推進を図る。また、幅広い年齢層の交流の機会を作るとともに、公の施設として適正な管理運営に努める。

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
管理運営事業 (一般)	利用者の快適性、安全性に配慮した施設運営を行うため、施設設備の早期修繕、老朽化備品の更新等を行う。	
活動計画	①-1 居場所づくりの推進 ふれあい荘で各種交流事業を実施します。	
入浴事業 (一般)	入浴希望者に快適な温泉を楽しんでいただくため、感染症予防に努め管理運営を行っていく。	
活動計画	①-1 居場所づくりの推進 高齢者だけでなく、幅広い年齢層の交流の機会をつくります。	
防災事業 (一般)	・指定避難所として指定されており、災害時には行政との協力体制を構築し、状況に応じた対応に努める。 ・開館時間に万が一発災した場合のため、避難訓練を利用者と共に行う。	
活動計画	④-1 災害時の支援 発災時、速やかに被災者支援にとりくみます。	
ふれあい交流事業 (ふれあい交流)	65歳以上の方の閉じこもりなどによる社会的孤独感の解消や自立生活の助長を図るため、健康体操、教養趣味講座活動、娯楽活動などを実施する。	
活動計画	①-1 居場所づくりの推進 ふれあい荘で各種交流事業を実施します。	

【廃止事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画		

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
一日体験事業	ふれあい交流に男性の利用者が少ないこと、また定期利用は難しく年数回の利用を希望する方にふれあい荘を身近に感じてもらうことを目的に一日体験事業を実施する。	
活動計画	①-1 居場所づくりの推進 ふれあい荘で各種交流事業を実施します。	

令和7年度 事業計画

事業所名	吉備中央町シルバー人材センター
------	-----------------

【基本方針】

会員相互の生きがいづくりや健康増進を図ることを目的として活動。今までの経験を活かし、いきいきと活躍できる就労の場を確保しつつ、地域の暮らしと活性化に向けて貢献する。

【継続事業】

事業名	事業内容	予算額
活動計画 (重点目標)		

【廃止事業】

事業名	事業内容（廃止理由）	予算額

【新規事業】

事業名	事業内容	予算額
シルバー人材センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体、民間企業、個人等からの仕事の受託請負 ・ 高齢者の能力に応じた仕事の開拓及び提供 ・ 高齢者の就業に関する相談 ・ その他センターの目的を達成するために必要な事業 	
活動計画 (重点目標)	③-1、③-2	
シルバー人材センター事業の見直し	令和7年度より社協事業となり動き始めたので現状及び課題の把握をして、今後を見据え事業の整備を図る。	
活動計画 (重点目標)		